エコアクション21

環境経営レポート

大船渡湾

◆レポートの対象期間　　2023年1月1日 ～ 2023年5月31日
◆レポートの発行日　　　2023年6月12日

地域と共に、未来を築く

特定建設業
株式会社 菊池組

目 次

1　環境経営方針　1

2　会社概要　2

3　対象範囲　3

4　環境活動実施体制　3

5　環境経営目標　4

6　環境経営計画　5

7　環境経営目標の達成状況と目標の見直し　6

8　環境経営計画の実施状況及び評価　7

9　環境関連法規等の遵守状況の確認　8

10　代表者による全体評価・見直し・指示　9

11　その他環境保全活動　10

地域と共に、未来を築く

特定建設業

株式会社 菊池組

1.　環境経営方針

環境基本理念

建設業は公共性が高く自然との関わりがとても深い業種です。ですが建設業の事業そのものが自然環境を変化させるものであり、同時に重機や車両の使用で環境に負荷を与えてきました。

私たち 株式会社 菊池組はかねてより『地域と共に、未来を築く』が経営理念です、まさに地域と未来のために、自然環境に負荷を与えてきたことを真摯に受け止め、「エコアクション21環境マネジメントシステム」を導入し、全社を挙げて環境負荷低減・環境保全活動を定着・向上させて、環境経営の継続的改善をしていくことを宣言します。

行動指針

- ◆ 燃料、電力等のエネルギー使用量を削減して、二酸化炭素排出量を削減します。
- ◆ 廃棄物排出量を抑制するとともに、建設副産物の再資源化を推進します。
- ◆ 水資源の節約に努め、生活排水を軽減し周辺環境に配慮します。
- ◆ 環境関連法規等を遵守します。
- ◆ 環境保全に関する社会貢献活動を推進します。
- ◆ 社員のスキルアップ、資格取得を推進し、生産性を高める。

上記の環境方針を達成するために、教育や日常活動を通じて全従業員に周知徹底するとともに、環境保全に関する知識を深め、環境保全に対する意識の向上を図ります。

制定日 2022年12月20日

地域と共に、未来を築く

特定建設業

株式会社 菊池組

代表取締役　佐々木 孝雄

2.　会社概要

組織の概要

◆社名

株式会社　菊池組

◆代表者

代表取締役　佐々木 孝雄

◆本社所在地

〒022-0002
岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森61番地7
TEL. 0192-27-7700
FAX. 0192-27-7701

◆資本金

3,000万円

◆創業

昭和18年5月20日

◆従業員数

33名（令和4年5月現在）

◆許認可業種

・特定建設業【岩手県知事許可(特-4)第890号】
・一般建設業【岩手県知事許可(般-4)第890号】
・排水設備工事指定店【大船渡市指定下水第6-28号】

◆業務内容

総合建設業
・土木工事一式
　　土工・舗装
・建築一式

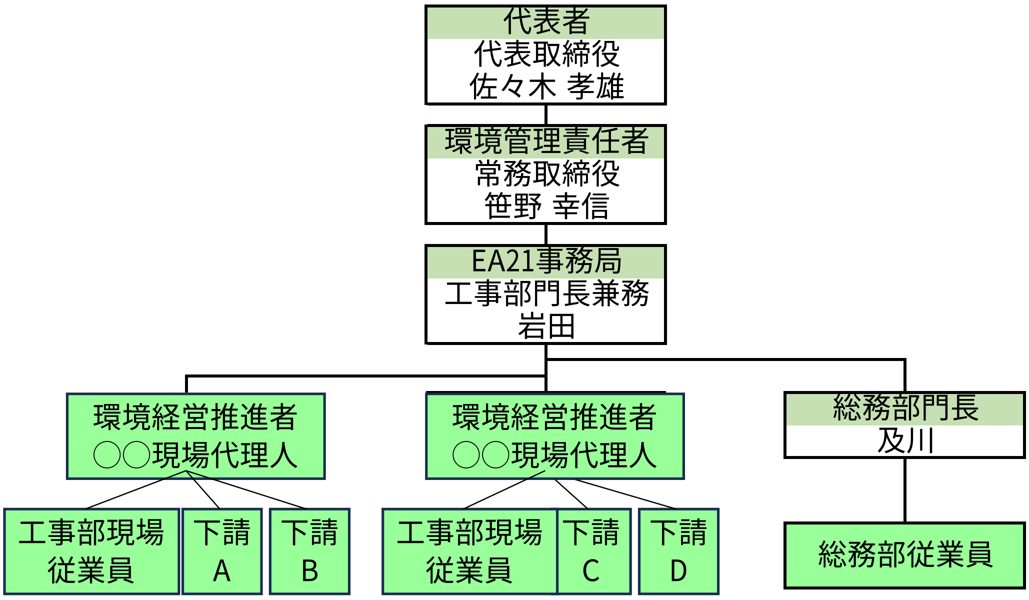
◆認証等

いわて子育てにやさしい企業
いわて女性活躍認定企業 ステップ2
大船渡市消防団協力事業所認定
予備自衛官等協力事業所認定

3.　対象範囲

◆認証･登録の範囲
　全サイト、全活動、全従業員
◆レポートの対象期間　　　2023年1月1日 ～ 2023年5月31日
◆レポートの発行日　　　　　2023年6月12日

4.　環境活動実施体制



環境管理システム　役割･責任･権限	
代表者 代表取締役 佐々木 孝雄	･経営における課題とチャンスの整理と明確化 ･環境経営に関する統括責任 ･環境経営ｼｽﾃﾑ実施に必要な人、設備、費用、時間、技能･技術者を準備 ･効果的な実施体制の構築 ･環境方針の策定･見直し及び全従業員へ周知 ･環境経営目標、環境経営計画･環境管理実施体制を承認 ･代表者による全体評価と見直し実施 ･環境経営レポートの承認
環境管理責任者 常務取締役 笹野 幸信	･環境経営システムの構築、実施、管理 ･環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ･環境経営目標、環境経営計画･環境管理実施体制を確認 ･環境活動の取組結果を代表者へ報告 ･環境経営レポートの確認
EA21事務局 岩田 (総務部門)	･環境管理責任者の補佐、ＥＡ２１委員会の事務局 ･環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ･環境経営目標、環境経営計画･環境管理実施体制原案の作成 ･環境活動の実績集計 ･環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ･環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ･環境関連の外部コミユニケーションの窓口 ･環境経営レポートの作成、公開
部門長 工事部 岩田 総務部 及川	･自部門における環境方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ･自部門に関係する環境活動計画の実施、達成状況報告 ･自部門に関係する緊急事態訓練の実施 ･自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 ･工事現場への指導と点検(工事部門長)
環境経営推進者 各工事現場責任者	･各作業所において、関係者への環境方針の周知、環境教育･訓練の実施 ･作業所における環境活動計画の実施、達成状況報告 ･作業所における関係する緊急事態訓練の実施 ･作業所の問題点の発見、是正、予防処置の実施 ･作業所の環境に関する創意工夫の計画と実施
従業員	･環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ･決められた事を守り、自主的･積極的に環境活動へ参加
各下請け業者	･環境取組みへの協力 ･作業所の決められたルールを守り、自主的･積極的に環境活動へ参加

5.　環境経営目標設定

◆基準年を2021年6月1日～2022年5月31日の1年間(以後も年度期間を6月1日～翌年5月1日)とする。
◆上記を基準年とし、トライアル期間を5ヶ月間(2023年1月1日～2023年5月31日)設け、トライアル期間と、基準年の同時期・期間の実績と評価を把握し、環境経営目標を策定した。
◆基準年度の基準値をもとに中期目標値を定めた。

項目		単位	基準年度基準値 2021.6～翌年5月 1年間	トライアル基準値 2022.1～5月 5ヶ月間	トライアル目標 目標値 削減率(%)	中期目標 2023年度 目標値 削減率(%)	中期目標 2024年度 目標値 削減率(%)	中期目標 2025年度 目標値 削減率(%)
①二酸化炭素排出量の削減	1)電力の削減							
	電気使用量	KWh	34165	18,456	18,364 -0.5%	33,823 -1.0%	33,482 -2.0%	33,482 -2.0%
	電気使用量	0.483kg-CO2/L	16502	8,914	8,959 -0.5%	16,337 -1.0%	16,172 -2.0%	16,172 -2.0%
	2)自動車等燃料の削減							
	ガソリン	L	29275	11,593	11,246 -3.0%	28,982 -1.0%	28,689 -2.0%	28,689 -2.0%
	ガソリン	2.32kg-CO2/L	67917	26,897	26,090 -3.0%	67,238 -1.0%	66,559 -2.0%	66,559 -2.0%
	軽油	L	118400	42,806	41,522 -3.0%	117,216 -1.0%	116,032 -2.0%	116,032 -2.0%
	軽油	2.58kg-CO2/L	305471	110,439	107,126 -3.0%	302,416 -1.0%	299,361 -2.0%	299,361 -2.0%
	灯油	L	1101	627	608 -3.0%	1,090 -1.0%	1,079 -2.0%	1,079 -2.0%
	灯油	2.49kg-CO2/L	2741	1,561	1,514 -3.0%	2,714 -1.0%	2,687 -2.0%	2,687 -2.0%
	LPG	kg	65	39	38 -3.0%	64 -1.0%	64 -2.0%	64 -2.0%
	LPG	3.00kg-CO2/L	195	118	121 -3.0%	193 -1.0%	191 -2.0%	191 -2.0%
	CO2排出量合計		392,827	147,929	143,491 -3.0%	388,898 -1.0%	384,970 -2.0%	384,970 -2.0%
②廃棄物排出量の削減	1)一般廃棄物							
	一般廃棄物	kg	565	239	237 +1.0%	560 -1.0%	554 -2.0%	554 -2.0%
	2)産業廃棄物							
	産業廃棄物再生資源化	%	95.0%	96.6%	+97.0%	96.0% +1%	97.0% +2%	98.0% +3%
③その他	1)水使用量の削減							
	水使用量	m3	565	260	252 +3.0%	559 -1.0%	554 -2.0%	554 -2.0%
	2)地域への協力・支援							
	社会貢献	回	3	2	2	3	3	3
	3)社員のスキルアップ・生産性向上							
	資格取得・ｾﾐﾅｰ受講数		30	3	3	30	30	30

＜補足事項＞
・目標値は項目ごとに設定する。
・二酸化炭素排出量係数は、環境省公表の係数で換算しています。
・産業廃棄物排出量は工事により大幅に変動するため、再資源化率のみ|

6.　環境経営計画

◆ 二酸化炭素排出量の削減

1） 電力の削減

- 人のいない場所の照明は消す(昼休み12:00～13:00完全消灯)
- コピー機は節電モードに設定
- パソコン電源OFF (外出時、退社時)
- エアコンの稼働改善
(終業前は早めの電源オフ･適正気温時の電源オフ)
- エアコンの稼働環境改善
(戸締まりの徹底、夏季はブラインドなどで遮光)
- エアコンの温度設定 夏季26度 冬季22度
- エアコンと合わせサーキュレーターを使用し、冷暖房の高効率化を図る
- 現場の電力使用取組状況を確認する
- 現場での環境対策の創意工夫を促す(実行予算に計上する)

2） 自動車燃料等の削減

- エコドライブの推進 (急の付く運転の防止･ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽｯﾄﾌﾟ･ドラレコの設置)
- 計画的な運行(ルート選定･外出回数を減らす)
- 現場移動はできるだけ乗り合わせして、使用台数を減らす。
- 車両の燃料補給時の走行距離を記録して燃料消費量を継続的に計測する。
- タイヤの空気圧を最低月1回点検･補充する

◆ 廃棄物排出量の削減

1） 一般廃棄物

- ゴミの分別(紙、段ボール、ペットボトル)、再資源化
- ペーパーレス化の推進
- zoom会議の推進(会議資料はPDF=紙資料削減)
- コピー用紙の削減 (社内回覧等は裏紙利用)
- ミスプリント削減(印刷前の確認の徹底)
- レジ袋の削減(マイバック推進)

2） 産業廃棄物

- 分別の徹底
- 処分業者の選定(再生資源化優先)

◆ その他

1） 水使用量の削減

- 社内･現場での水道利用時「節水」啓発(掲示)

2） 化学物質の使用量削減(工事内容による)

- 環境負荷が少ない材料の選定
- 無駄なく使用する(適切な施工計画作成･使用数量の把握)

3） 環境保全への協力及び活動

- 地域の清掃活動(ボランティア活動)
- 月1回の定例会議で環境に関する項目を議題とする(変更点周知や状況報告など)

4） 社員のスキルアップ･生産性向上

- 資格取得･セミナー受講の推進(資格取得･講習･セミナー受講数で判断)
- 過去の工事データ･作成した様式などを社内オンラインストレージで共有する
- 若手が経験を積む機会を増やす

(社員のスキルアップ･生産性向上により、無駄･残業･休日就労の削減)

7. 環境経営目標の達成状況と評価(トライアル)

◆トライアル期間(2023年1月1日～2023年5月31日)の実績を評価を行った。

項目		単位	トライアル期間 基準値 2022年1～5月 5ヶ月間	目標 [上段]値 [下段]削減率	実績 [上段]値 [下段]削減率	評価
①二酸化炭素排出量の削減	1)電力の削減					
	電気使用量	KWh	18,456	18,364 -0.5%	22,704 +23.0%	×
		0.483kg-CO2/L	8,914	8,959 -0.5%	10,966 +23.0%	
	2)自動車等燃料の削減					
	ガソリン	L	11,593	11,246 -3.0%	9,140 -21.2%	◎
		2.32kg-CO2/L	26,897	26,090 -3.0%	21,205 -21.2%	
	軽油	L	42,806	41,522 -3.0%	21,667 -49.4%	◎
		2.58kg-CO2/L	110,439	107,126 -3.0%	55,900 -49.4%	
	灯油	L	627	608 -3.0%	1,587 +153.1%	×
		2.49kg-CO2/L	1,561	1,514 -3.0%	3,952 +153.1%	
	LPG	kg	39	38 -3.0%	32 -18.6%	○
		3.00kg-CO2/L	118	121 -3.0%	96 -18.6%	
	CO2排出量合計		147,929	143,491 -3.0%	92,119 -37.7%	◎
②廃棄物排出量の削減	1)一般廃棄物					
	一般廃棄物	kg	239	237 +1.0%	221 -7.5%	△
	2)産業廃棄物					
	産業廃棄物再生資源化	%	96.6%	+97.0%	100.0% +3.4%	○
③その他	1)水使用量の削減					
	水使用量	m3	260	252 +3.0%	359 +38.1%	×
	2)地域への協力･支援					
	社会貢献	回	2	2	2	△
	3)社員のスキルアップ･生産性向上					
	資格取得･ｾﾐﾅｰ受講数		3	3	5	○

※実績評価：◎よくできた　○できた　△まあまあ　×できなかった

＜補足事項＞

･目標値は項目ごとに設定する。
･二酸化炭素排出量係数は、環境省公表の係数で換算しています。
･産業廃棄物排出量は工事により大幅に変動するため、再資源化率のみ目標･評価を設定する。

8.　環境経営計画の実施状況及び評価

評価基準期間：2022年1月1日～2022年5月31日
実績評価期間：2023年1月1日～2023年5月31日(トライアル期間)
2023年6月1日以降も取組継続

環境経営計画	実績評価	今後の取組及び対策等
1、二酸化炭素排出量の削減		
1）電力の削減		
・人のいない場所の照明は消す(昼休み12:00～13:00完全消灯)	△	あまりできていない(継続)
・コピー機は節電モードに設定	△	あまりできていない(継続)
・パソコン電源OFF（外出時、退社時）	△	あまりできていない(継続)
・エアコンの稼働改善（終業前は早めの電源オフ・適正気温時の電源オフ）	×	出来ていない、掲示などで啓発活動を行う
・エアコンの稼働環境改善（戸締まりの徹底、夏季はブラインドなどで遮光）	×	出来ていない、掲示などで啓発活動を行う
2）自動車燃料等の削減		
・エコドライブを心がける（急発進・急加速・急停止の防止、アイドリングスップ）	○	できた(継続)
・計画的な運行(ルート選定・無駄を省き効率化)	○	できた(継続)
・現場移動は乗り合わせで	△	あまりできていない(継続)
2、廃棄物排出量の削減		
1）一般廃棄物		
・ゴミの分別(紙、段ボール、ペットボトル)、再資源化	△	あまりできていない(継続)
・ペーパーレス化の推進	×	出来ていない、会議・朝礼等で周知徹底を行う
・コピー用紙の削減（社内回覧等は裏紙利用）	△	あまりできていない(継続)
・レジ袋の削減(マイバック推進)	×	出来ていない、会議・朝礼等で周知徹底を行う
2）産業廃棄物		
・分別の徹底	△	あまりできていない(継続)
・設計数量と実績数量の比較管理	○	できた(継続) 原因がわかっていたため設計変更の対象となった
・処分業者の選定(再生資源化優先)	○	できた(継続)
3、その他		
1）水使用量の削減		
・社内水道利用時「節水」啓発(掲示)	○	できた(継続)
2）化学物質の使用量削減(工事内容による)		
・環境負荷が少ない材料の選定	-	発注者指定規格製品を使用のため、無評価。
・無駄なく使用する(適切な施工計画・実施)	-	発注者指定規格製品を使用のため、無評価。
3）環境保全への協力及び活動		
・地域の清掃活動(ボランティア活動)	○	できた(継続)
・環境に関する勉強会開催・セミナー等の受講	○	できた(継続)
4)社員のスキルアップ・生産性向上		
・資格取得・セミナー受講の推進(資格取得数・CPDSユニット数で判断)	△	あまりできていない(継続)
過去の工事データ・作成した様式などを社内オンラインストレージで共有する	○	できた(継続)
・若手が経験を積む機会を増やす	○	できた(継続)

実施評価 ：◎よくできた　〇できた　△あまりできていない　×できなかった

9 環境関連法規等の遵守状況の確認

◆環境関連法規等の遵守状況
◇当事業所に適応される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、トライアル期間中、関係当局からの違反等の指摘、訴訟等もありませんでした。
主な関係法令の遵守状況は下記のとおりとなります。

2023年5月31日　現在

法規等の名称	条項	要求事項	遵守
建設リサイクル法	第10条	対象工事の事前届出等の義務付け	○
廃棄物処理法	第12条2項	産業廃棄物の保管	-
	第12条5項	産業廃棄物の適正処理(許可業者に委託)	○
	第12条7項	産業廃棄物処理状況の確認	○
	第12条の3	産業廃棄物管理票の交付	○
	第12条の3 第7項	産業廃棄物管理票の交付状況報告	○
岩手県循環型地域謝意の形成に関する条例	第9条の2	順多量排出業者の産業廃棄物の減量等に関する計画及び状況報告	○
	第22条	排出事業者の責務等	○
岩手県土木工事共通特記仕様書	第1章 第1節-4	再生資源利用計画書の監督職員に提出及びシステムに情報登録	○

10. 代表者による全体評価・見直し・指示

項目	変更の有無	見直しの指示事項等
環境経営方針	無し	変更なし
環境活動実施体制	無し	変更なし
環境経営目標	無し	変更なし
環境経営計画	有り	対策項目を追加指示
環境関連法規等の遵守	無し	変更なし

全体評価

エコアクション21に取り組みをはじめてから、今まで無かった環境に対する社員の視点や意識が広がりはじめたと感じます。

これまでも省エネ対策などの活動をしていましたが、エコアクション21を導入し、明確に体制・目標・計画・実績・評価などの我が社の環境取組が「見える化」されたことにより、原因や対策もわかりやすくなりました。

個別に見ていくと、環境経営方針や体制・目標は妥当なものですが、二酸化炭素排出量削減の目標は達成できた、ただ電力と灯油の使用量が悪化したので改善の指示を出しました。

詳しくデータを見ると、工事現場での使用が増えたことが原因で、これは工事作業上仕方がない部分はありますが、現場事務所のエアコンの使用状況などの改善の余地が有るので、工事現場のエネルギー使用・取り組みについて強化の指示をしました。

水の使用量についても、工事で使用したため悪化したが、本社事務所では改善されているので、取り組みを継続。

上記の以外の項目は目標を達成しており、今後も継続するものとする。

今後については、目標達成という数値的なものも大事だが、エコアクション21に取り組むことで向上した社員の環境に対する意識を保つ工夫が重要であると考えられるので、全社を上げて取組みます。

2023年6月7日

株式会社 菊池組
代表取締役 佐々木 孝雄

11.その他環境保全活動

月日	実施項目	内容
令和4年5月14日	ボランティア	大船渡市市道 道路清掃活動 下館下地区
令和4年5月21日	ボランティア	大船渡市市道 道路清掃活動 佐野橋

その他 環境保全活動(写真)

啓発用掲示

建設業ふれあい体験授業

ボランティア活動